

# 北太平洋（NOPAC）ルートにおける航空交通量の予測

国際路線のうち、特に混雑の著しい北太平洋ルートについて今後の需要予測を行った。北太平洋ルートにおける需要予測については、平成6年6月の航空審議会23号答申において実施されているが、今回の需要予測はこれを時点修正するものである。

## 1. 需要予測の手法

2000年における北太平洋ルート通過機の実績値に、今後予想される需要の伸びを掛け合わせることで算出する。

2000年における北太平洋ルート通過機の実績値については、以下のとおり。

北太平洋ルート通過機	81,638機
うち、日本発着機数	47,513機(58%)
うち、上空通過機数	34,125機(42%)

今後予想される北太平洋ルートにおける需要の伸びについては、日本発着機に対しては、第4回空港整備部会資料に基づき算出したアメリカ方面の旅客数の伸び率を利用し、上空通過機の伸びに対しては、ICAOにおいて算出されたアジア太平洋地域と北米間の旅客数の伸び率を利用する。

### 【日本発着機数（空港整備部会配布資料より）】

2000年の実績値 47,513機

伸び率 00～07年 4.2%/年(1,615万人(2000年) 2,160万人(2007年))

07～12年 4.8%/年(2,160万人(2007年) 2,730万人(2012年))

### 【上空通過機数】

2000年の実績値 34,125機

伸び率(ICA0 Report of the APA TFG, June 2001より)

00～05年 6.4%/年

06～10年 5.3%/年

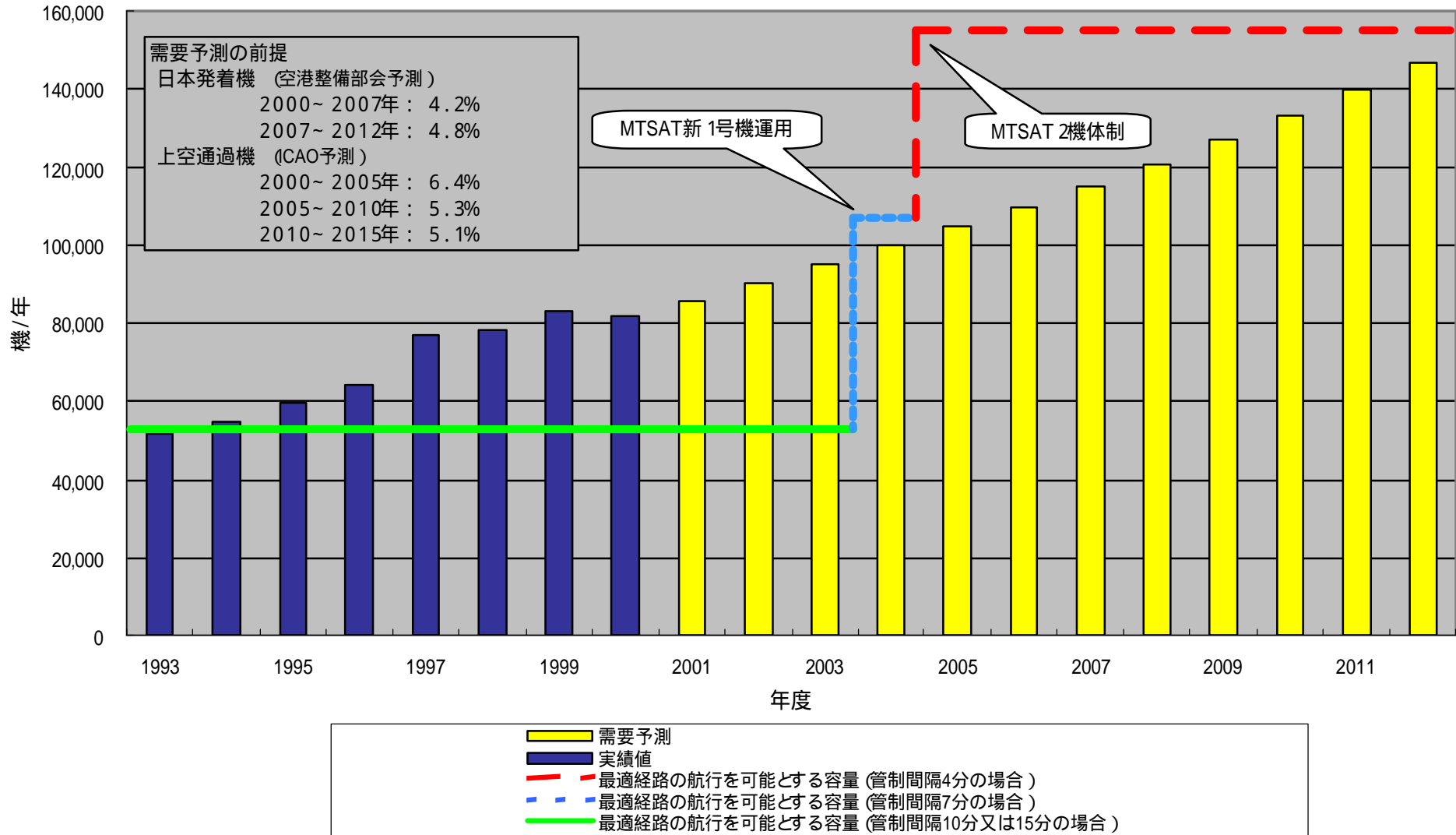
11～15年 5.1%/年

## 2. 北太平洋ルートにおける需要予測結果

(単位：機)

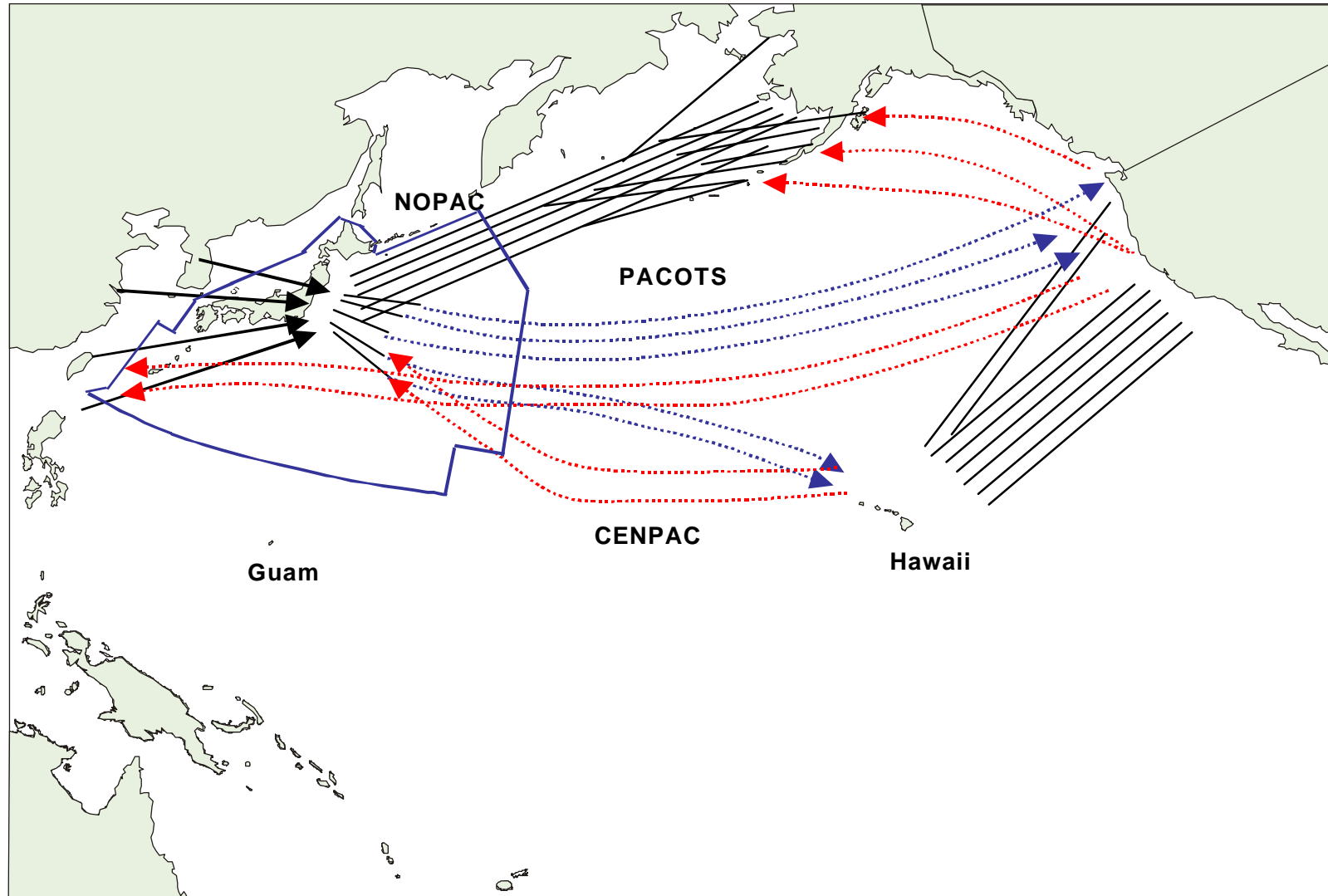
	2001	2002	2003	2004	2005	2006
予測値	85,818	90,221	94,861	99,750	104,902	109,819
	2007	2008	2009	2010	2011	2012
予測値	114,970	120,747	126,815	133,188	139,762	146,660

# 北太平洋ルートにおける航空交通量の予測と最適経路の航行を可能とする航空交通容量



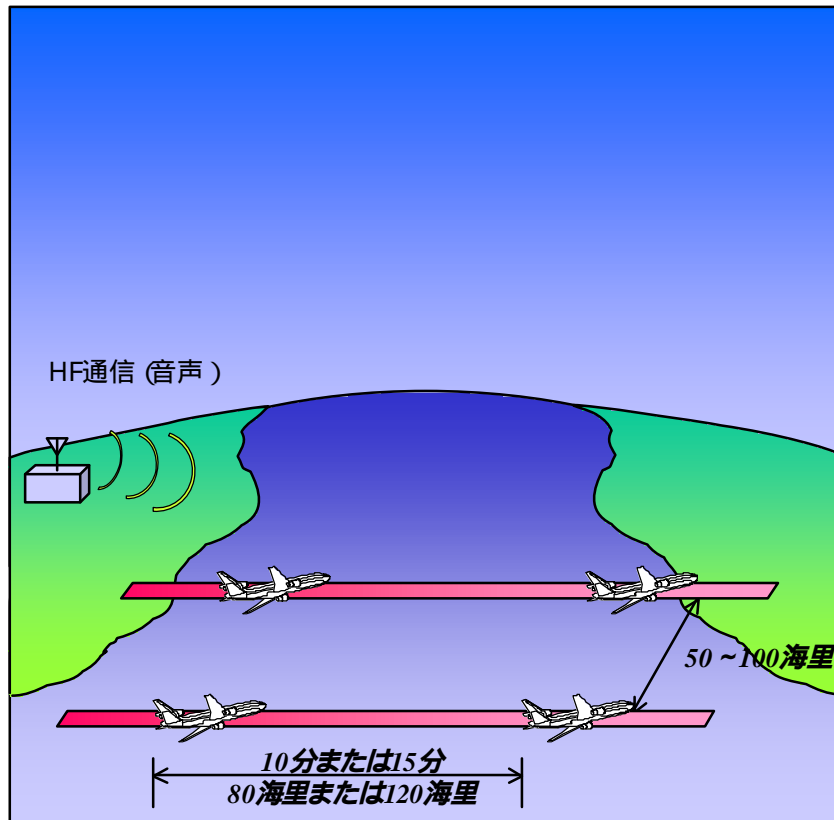
(注) 最適経路の航行: 航空会社等の提出した飛行計画どおりの高度で飛行すること

# 北部・中部太平洋の航空路の構成



# 洋上管制間隔の短縮

## 現行システム



## 衛星導入後

